



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東 福

上場会社名 佐世保重工業株式会社

コード番号 7007 URL <http://www.ssk-sasebo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 湯下 善文

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 澁谷 明幸

TEL 03-6861-7312

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	28,044	△45.4	△1,564	—	△1,507	—	△1,247	—
24年3月期第3四半期	51,316	11.5	6,514	22.1	6,261	23.0	2,868	△32.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △1,238百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 2,890百万円 (△26.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△7.77	—
24年3月期第3四半期	17.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	68,804	26,473	38.5
24年3月期	84,464	28,514	33.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 26,473百万円 24年3月期 28,514百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の配当金は未定です。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△39.5	△3,000	—	△3,300	—	△3,300	—	△20.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	161,955,000 株	24年3月期	161,955,000 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,488,725 株	24年3月期	1,485,710 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	160,467,585 株	24年3月期3Q	160,470,782 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。そのため、当社としてその実現を約束する趣旨のものではなく、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績等は様々な要因により、この業績見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。なお、実際の業績に影響を与える要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に国内景気は緩やかな回復が見られるものの、世界景気の減速等を背景に弱い動きとなっております。また、2012年12月の新政権の経済政策などにより、円安基調への転換や株価の回復が見られるものの、海外経済を巡る不確実性はわが国の景気を下押しするリスクとなっており、先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況において当社グループは、連結受注高については、新造船7隻を受注したことなどから前年同四半期比31.6%増加の24,664百万円となり、当第3四半期連結累計期間末の連結受注残高は、前年同四半期比40.4%減少の37,671百万円となりました。連結売上高については、リーマンショック以降に受注した低船価の新造船の建造が進捗したことに加え新造船事業の操業縮小により、前年同四半期比45.4%減少の28,044百万円となりました。その結果、損益面では、連結営業損失として1,564百万円、連結経常損失として1,507百万円の計上となり、連結四半期純損失は、固定資産売却益等の特別利益、投資有価証券評価損等の特別損失及び法人税等の影響により1,247百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①船舶

船舶部門の受注高は、新造船として75千重量トンバルクキャリアー2隻、77千重量トンバルクキャリアー3隻及び84千重量トンバルクキャリアー2隻を受注したほか、海上自衛隊、米海軍艦船及び一般商船等の修理工事等を加え21,619百万円となり、前年同四半期比47.6%増加しました。売上高はリーマンショック以降に受注した低船価の新造船の建造が進捗したことに加え新造船事業の操業縮小により、前年同四半期比46.0%減少の24,955百万円となり、セグメント損益は1,787百万円の損失となりました。当第3四半期連結累計期間に引渡した新造船は180千重量トンバルクキャリアー1隻、75千重量トンバルクキャリアー3隻の計4隻です。この結果、新造船の受注残は11隻となりました。

## ②機械

機械部門の受注高は、機器工事として船舶用機器や一般産業機械等で2,169百万円となり、前年同四半期比32.2%減少しました。売上高は海運市況の悪化に伴うクランク軸の価格低迷の影響などにより前年同四半期比47.7%減少の2,213百万円となり、セグメント損益は167百万円の損失となりました。

## ③その他

主な事業の内訳は給食事業その他で、受注高、売上高ともに前年同四半期比1.6%減少の875百万円となり、セグメント損益は37百万円の利益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (総資産)

流動資産は、前連結会計年度末比17,429百万円減少し41,911百万円となりました。これは主として借入金の返済などに伴う現金及び預金の減少によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比1,770百万円増加し26,893百万円となりました。

この結果、資産合計は前連結会計年度末比15,659百万円減少し68,804百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末比10,449百万円減少し22,703百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金並びに未払費用の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比3,169百万円減少し19,628百万円となりました。これは主として長期借入金の返済に伴う減少によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比13,618百万円減少し42,331百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末比2,040百万円減少し26,473百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済につきましては、欧州債務危機問題やアメリカの「財政の崖」の影響等により世界景気が下振れするリスクがあり先行きは不透明な状況にあります。国内経済においても各種経済政策の効果が期待されているものの、景気は弱い回復に留まっている状況です。

また、為替相場は2012年12月の新政権の経済政策などにより円安基調へ転換しているものの、海運市況は依然として回復の兆しが見えず、新造船マーケットも大変厳しい状況が続くことが予想されます。また一方で円安の進行により原材料価格の再上昇懸念など、当社を取り巻く環境はますます厳しさを増していくものと想定されます。

このような昨今の激しい事業環境の変化へ対応するために、2012年10月25日に開示しました「向こう3ヵ年の経営方針（事業再構築について）」につきましては、現状を踏まえて計画の検証とこれまでの各施策の見直しを行っております。

なお、現時点においては、平成24年5月18日に公表いたしました業績予想に変更はありませんが、今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
期中における重要な子会社の異動はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,881	25,682
受取手形及び売掛金	13,720	13,293
有価証券	40	40
商品及び製品	16	16
仕掛品	974	1,095
原材料及び貯蔵品	365	246
その他	1,342	1,536
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	59,340	41,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,660	8,200
土地	5,811	5,763
その他(純額)	7,303	6,247
有形固定資産合計	21,774	20,210
無形固定資産	178	206
投資その他の資産		
投資有価証券	2,981	2,851
その他	454	3,890
貸倒引当金	△265	△265
投資その他の資産合計	3,170	6,476
固定資産合計	25,123	26,893
資産合計	84,464	68,804

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,179	10,429
設備関係支払手形	179	18
短期借入金	5,376	5,884
未払法人税等	1,486	3
前受金	1,843	1,829
保証工事引当金	54	48
受注工事損失引当金	1,227	3,079
その他	4,807	1,409
流動負債合計	33,152	22,703
固定負債		
長期借入金	18,241	15,197
繰延税金負債	232	240
退職給付引当金	4,085	3,897
特別修繕引当金	50	59
その他	187	233
固定負債合計	22,797	19,628
負債合計	55,950	42,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,414	8,414
資本剰余金	5,148	5,148
利益剰余金	15,974	13,924
自己株式	△977	△977
株主資本合計	28,558	26,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	21
繰延ヘッジ損益	△58	△56
その他の包括利益累計額合計	△44	△35
純資産合計	28,514	26,473
負債純資産合計	84,464	68,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	51,316	28,044
売上原価	42,969	27,635
売上総利益	8,347	408
販売費及び一般管理費	1,832	1,972
営業利益又は営業損失(△)	6,514	△1,564
営業外収益		
受取利息及び配当金	80	63
為替差益	—	311
その他	27	23
営業外収益合計	107	397
営業外費用		
支払利息	278	327
為替差損	26	—
その他	55	14
営業外費用合計	360	341
経常利益又は経常損失(△)	6,261	△1,507
特別利益		
固定資産売却益	1	595
その他	0	98
特別利益合計	1	693
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産処分損	8	13
投資有価証券評価損	627	144
その他	62	20
特別損失合計	703	178
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,559	△993
法人税、住民税及び事業税	2,896	16
法人税等調整額	△205	—
過年度法人税等	—	237
法人税等合計	2,690	254
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,868	△1,247
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,868	△1,247

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,868	△1,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	7
繰延ヘッジ損益	—	2
その他の包括利益合計	21	9
四半期包括利益	2,890	△1,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,890	△1,238

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	船舶	機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	46,198	4,228	50,427	889	51,316	—	51,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	1,512	1,512	△1,512	—
計	46,198	4,228	50,427	2,401	52,828	△1,512	51,316
セグメント利益	5,106	838	5,944	107	6,051	463	6,514

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業、ゴルフ場事業及び運輸事業等を含んでおります。

2 各セグメントに配分している一般管理費等の全社費用は予算金額を基に行っており、実際発生額との予算差異については配分しておりません。セグメント利益の調整額として計上している463百万円には、この予算差異を計上しております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	船舶	機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,955	2,213	27,169	875	28,044	—	28,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	37	—	37	1,115	1,152	△1,152	—
計	24,993	2,213	27,206	1,990	29,196	△1,152	28,044
セグメント利益又は損失(△)	△1,787	△167	△1,955	37	△1,917	353	△1,564

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業、ゴルフ場事業及び運輸事業等を含んでおります。

2 各セグメントに配分している一般管理費等の全社費用は予算金額を基に行っており、実際発生額との予算差異については配分しておりません。セグメント利益の調整額として計上している353百万円には、この予算差異を計上しております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
船舶	44,549	90.0	25,195	87.6	△19,353	△43.4
機械	4,073	8.2	2,700	9.4	△1,372	△33.7
その他	889	1.8	875	3.0	△14	△1.6
合計	49,512	100.0	28,770	100.0	△20,741	△41.9

## ② 受注状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
船舶	14,647	78.2	21,619	87.7	6,972	47.6
機械	3,199	17.1	2,169	8.8	△1,030	△32.2
その他	889	4.7	875	3.5	△14	△1.6
合計	18,736	100.0	24,664	100.0	5,927	31.6

## ③ 受注残高

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (平成23年12月31日)		当連結会計年度末 (平成24年12月31日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
船舶	61,225	96.9	35,792	95.0	△25,432	△41.5
機械	1,965	3.1	1,879	5.0	△85	△4.4
その他	—	—	—	—	—	—
合計	63,190	100.0	37,671	100.0	△25,518	△40.4

(注1) 受注残高は工事完成基準で記載しております。当第3四半期連結会計期間末の受注残高の内、船舶14,818百万円を、前第3四半期連結会計期間末の受注残高の内、船舶25,796百万円を工事進行基準による売上高として計上しております。

(注2) 前連結会計年度末外貨建受注残高の為替レート変動による減少額△292百万円は、当第3四半期連結会計年度末受注残高より減算しております。

## ④ 販売実績

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
船舶	46,198	90.0	24,955	89.0	△21,243	△46.0
機械	4,228	8.3	2,213	7.9	△2,014	△47.7
その他	889	1.7	875	3.1	△14	△1.6
合計	51,316	100.0	28,044	100.0	△23,272	△45.4